

2022年1月28日

株式会社スカパーJ S A Tホールディングス

代表取締役社長 米倉 英一

(コード番号：9412 東証第1部)

広報・IR部長 加茂 弘子

TEL 03(5571)1500

スカパーJ S A T横浜衛星管制センター および茨城ネットワーク管制センターの 使用電力を再生可能エネルギーに転換 ～脱炭素社会の実現に向けて～



株式会社スカパーJ S A Tホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：米倉英一、以下当社）は、2021年11月2日付「サステナビリティ方針の策定と目標・KPIの設定について」にて公表した、当社が取り組む重要課題テーマの目標「脱炭素社会と循環型経済の実現に向けた環境への寄与」の「2030年にありたい姿」に向け、当社の100%子会社であるスカパーJ S A T株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一）が運営する「横浜衛星管制センター」および「茨城ネットワーク管制センター」における電力購入契約を見直し、2022年1月よりすべての使用電力を再生可能エネルギー由来の電力へ切り換えました。これにより、当社グループ全体の使用電力に占める再生可能エネルギー比率は約30%^{※1}となり、年間のCO₂排出量は約3,000トン以上^{※2}削減される見込みです。



主局 横浜衛星管制センター（YSCC：Yokohama Satellite Control Center）：東経85度～169度までの衛星を指向する大小のパラボラアンテナ群、直径4m以上の大型アンテナは計29基^{※3}



副局 茨城ネットワーク管制センター（SPE：Space Port East）：茨城県常陸大宮市に位置する拠点。大小計64基^{※3}のアンテナ設備を運用

「横浜衛星管制センター」と「茨城ネットワーク管制センター」は、当社グループにおける衛星通信事業の根幹をなす拠点であり、衛星運用・回線運用・テレポート運用業務を担う主局および副局として24時間365日稼働しています。今後、脱炭素社会の実現に向けた取り

組みをさらに加速させ、残る拠点においても順次使用電力の切り替えを進め、当社グループの再生可能エネルギー使用比率を2022年度末までに80%以上、2030年までには100%を目指してまいります。

当社は、2018年に制定したグループミッション「Space for your Smile」を「サステナビリティ方針」として掲げ、今後も事業を通じて人々の暮らしに安心や快適さ、楽しさをお届けすることで持続的な成長を目指します。

■ 関連リンク

- 2021年11月2日リリース

「サステナビリティ方針の策定と 目標・KPI の設定について～スカパー J S A T グループミッション「Space for your Smile」の目指す一人ひとりがよりよい明日を迎える世界へ～」

https://www.skyperfect.jsat.space/news/detail/_kpi_space_for_your_smile.html

- スカパー J S A T 宇宙事業サイト

<https://www.skyperfect.jsat.space/jsat/>

※1 再生可能エネルギー使用比率は、2020年度の当社グループ使用電力量実績をベースに算出しております。（内訳：YSCC 20.3%、SPE 8.6%）

※2 各拠点における直近12ヵ月（2021年1月～2021年12月）のCO₂排出量（t-CO₂/年）の実績値の合計は3,434トンです。（内訳：YSCC 2,382トン、SPE 1,052トン）

※3 各拠点のアンテナ基数は2022年1月現在の数です。



今回ご紹介した重要課題

「3. 脱炭素社会と循環型経済の実現に向けた環境への寄与」



スカパー J S A T グループでは、取り組むべき9つの重要課題を特定しています。
詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

以上